

第 16 回 自動車安全シンポジウムの開催について (案)

▶ 自動車安全シンポジウム開催概要

自動車安全シンポジウムは、国土交通省における自動車安全政策を発表するとともに、国民の意見を聞く貴重な機会と考えられる。2013 年から一般の参加者を対象とした企画と、自動車産業の関係者を対象とした企画を 1 年ごとに切り替える形式で開催するようになった。

第 16 回は東京モーターショー開催期間に合わせて一般の参加者を対象とした企画で開催する予定であり、企画の主旨と一般の方の関心の高さが調和する企画内容・開催方法について検討したい。

○開催時期： 平成 27 年 10 月 29 日～11 月 8 日のいずれか 1 日
(東京モーターショー開催期間中)

○開催場所： 東京ビッグサイト

○今年度のテーマ (案)

- ・ 自動車アセスメントの新しい流れ：予防安全技術の性能評価のはじまり
- ・ 自動運転関連
- ・ 交通事故調査・分析の拡充

(参考) これまでのテーマ

- ・ より安全なクルマを目指して
- ・ 21 世紀型の安全なクルマ社会を目指して
～尊い命を守るために～
- ・ より安全なクルマ社会を目指して
- ・ 高齢者のための車両安全対策
- ・ トラック重大事故への挑戦
- ・ 対策の効果評価とこれからの自動車安全対策
- ・ 自動車の予防安全対策について
- ・ 大型車の安全対策
- ・ 高齢社会への対応
- ・ 今後普及が見込まれる新たな自動車と安全対策
- ・ より安全なクルマ社会を目指して
- ・ ヒトとクルマの共存をめざして
～先進技術を活用した安全対策～
- ・ 悲惨な交通事故をいかに防ぐのか
～車両安全技術の普及に向けて～

■過去5年のタイトル

11回(2010)「より安全なクルマ社会を目指して」

12回(2011)「ヒトとクルマの共存をめざして～先進技術を活用した安全対策～」

13回(2013)「悲惨な交通事故をいかに防ぐのか～車両安全技術の普及に向けて～」

14回(2013)「いのちを守るクルマの今～知っておきたい安全技術とその使い方～」(一般)

15回(2014)「国際社会における自動車安全戦略と国際基準調和」(専門家)

↓

16回(2015)「テーマ：一般向け」

■テーマ設定に向けて

- 自動車アセスメントの新しい流れ：予防安全技術の性能評価のはじまり
- 自動運転関係：各省庁，内閣府，ITS系団体をはじめ国内外で多数開催（TMSでも重複する可能性が高そう）

<テーマ設定で重要なポイント（案）>

- ① わかりやすいこと（デモ／映像などのマルチメディア活用）
- ② 最新・将来の自動車の安全技術について理解が深まること
- ③ 安全な自動車が普及拡大するための議論が深まること
- ④ モーターショーの他シンポジウムと重複しないこと